



クラシコア▲

## とにかくくー歩踏み出すこと！

## チャレンジするこじゅー！

(株)丸仙工業

代表取締役社長

田中 智範さん

(株)丸仙工業が製造した「クラシコア」が、第二十三回住空間デザインコンペで、最高位である、内閣総理大臣賞を受賞した。社長の田中さんにお話を伺った。

クラシコアとはどんなもの？「OLEDKと言う、斬新な発想から生まれたセンターコア家具です。生活に必要なものをすべて収納する多機能家具のことです。そして居住空間の中心に設置します。ベッドも一体化していて、軽く触れるだけで開閉できる、電動の収納スペースももっています。そして家具をスライ

ドさせることで、書斎などのプライベート空間を確保できます。」

クラシコア内部はどうなっているのだろう。「高齢者や子供のことを考慮した設計がなされ、特許出願中の、縦型LEDスリット照明、ウォークインクローゼットなどラゲジュアリーな空間を演出しています。そして水回りをすべて収納しています。たとえば脱衣室、洗面台、バス、トイレなどを格納します」

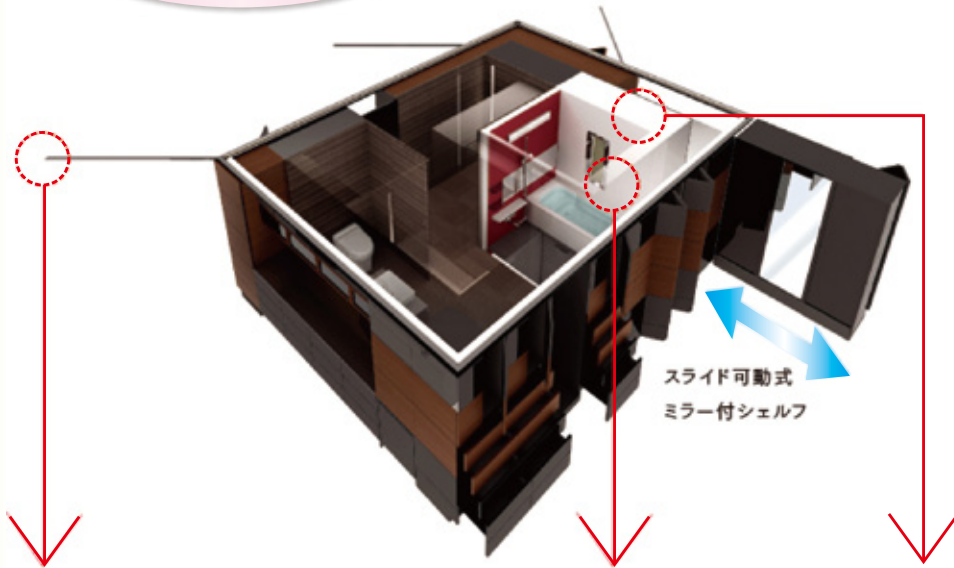
クラシコアは、常識を超える画期的な住空間を提供している。



特許  
衛生設備付き多機能家具  
特許第 4691194 号

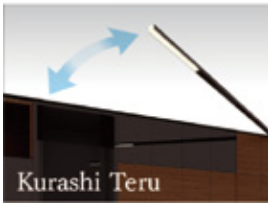
クラシコアの特許

家具でありながら、バスルーム、レストルーム、キッチンなど衛生設備、水回り設備まで有しています。住空間の主役としての役割を果たす、初めての家具の誕生です。



特許 (出願中)

一体型電動LED照明



Kurashi Teru

クラシコア上部には電動で自由に位置を変えられるLED照明が収納されています。天井に照明器具を設置する必要がなく、コストを抑えられ、美しいデザイン性も確保できます。

特許 (出願中)

一体成型された棚・チェアがあるユニットバス



Raku Seat

バスルームに、棚や座るスペースを設けました。ユニットバスと一体成型だから境目がなくめらかなデザインです。小さなお子様や、ちょっと腰掛けたい高齢者にも安心です。

特許 (出願中)

家具でつくられたプライベートルーム



Pit-inn Space

家具をスライドすることで、書斎などに利用できるプライベートルームが、バスルームと隣接しブラインドを手動で開閉できる窓や、昇降開閉式窓からバスルーム内の様子が伺え、お年寄りや幼児の入浴時に安心です。

ファミリー、ビジネスオフィス以外に、そしてシニアライフにも最適と田中さんは語る。「回廊住宅ともいえるからです。回遊性が高く、住空間が散策路となるのです。周囲に手すりを設けることもできます。」

第二十三回住空間デザインコンペ(大川夏の彩展2013)の期間中には、クラシコアのブースは多くのバイヤーで賑わった。そして提案している新しい生活スタイルに多くの賞賛の声が寄せられたという。

田中社長は、クラシコアの販売拡大、量産化に大きな期待を抱いている。引き合いも出てきているという。「新築住宅を検討の方が、今回の展示会でクラシコアをみて、即座に購入を検討された嬉しい事例がありました。又、ク

ラシコアの考え方が筑後市営住宅のリフォームですでに採用されています。」

クラシコアの強みについて、「従来の家具と違って、住宅ローンの一部に組み込まれることです。またリフォーム工期が一週間ですみます。」と話される。工務店や設計事務所に売り込みができる。

さて、ここで視点を変えてみよう。田中さんは、「本来ならクラシコアは、大手企業に制作が任せられるはずだった」という。しかし、丸仙工業に製造を依頼されたのは、一つには実績、技術力に対する信頼があったからだ、と思う。

丸仙工業は「住空間デザインコンペ」で、今回を含め三度内閣総理大臣賞を獲得しているからだ。

と言っても、丸仙工業は十二年前までは、安価な量産家具を作っていた会社すぎなかった。短期間で技術力の高さ、企業へと変貌を遂げたことになる。「将来性を考え、量産家具から、付加価値の高い高級家具へとシフトチェンジ」をしたという。古いバイヤーたちからその変化の大き

きに、毎年驚きの声があがっていた。この点は非常に興味深い。

その原動力はどこにあるのだろうか。チャレンジ精神。「やり方が分からなくとも、とにかく一歩踏み出すこと！チャレンジすること！壁にぶつかれば、そこで立ち止まって考えれば良い！」その精神が従業員たちに浸透するよう常に感化を与え続けた。そして実際に変貌を遂げる事ができた。チャレンジ精神が単なるお題目に終わることなく、実践できたことが素晴らしい。教訓を得られる。

さて、田中さんの夢は何だろうか。「大川家具をみんなで復活させることです。クラシコアの特許をもたれる川原広海さん、企画販売の大和通商さん、いずれも大川の復興を願っておられます。それで大川の企業に製造を依頼された側面があるのです。それで、クラシコアはオール大川で製造していきたいと思っています。周辺の家具、箱物家具などです。クラシコアが大川の復興の一助になれば嬉しく思います。」